デコードモニター

クイックスタートガイド

法的情報

本ドキュメントについて

- 本ドキュメントには、本製品の使用および管理に関する説明が含まれています。以下に記載されている写真、図表、画像、およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートやその他の理由により、予告なく変更される場合があります。本ドキュメントの最新バージョンは、Hikvisionのウェブサイト（https://www.hikvision.com）でご確認ください。別段の合意がない限り、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその関連会社（以下「Hikvision」といいます）は、明示的または黙示的な保証を行いません。
- 本ドキュメントのご利用にあたっては、本製品のサポートに関する訓練を受けた専門家の指導および支援を受けてください。

本製品について

本製品のアフターサービスサポートは、購入された国または地域でのみご利用いただけます。

知的財産権の承認

- Hikvision は、本ドキュメントに記載された技術に関連する著作権および/または特許を所有しています。本文書に記載された製品に具現化された技術に関する著作権および／または特許を所有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- 本文書の一部（テキスト、画像、グラフィックなどを含む）は、Hikvision に帰属します。書面による許可なく、本文書のいかなる部分も、その全部または一部を、いかなる手段によっても抜粋、複製、翻訳、または改変することはできません。
- HIKVISION およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、さまざまな法域において Hikvision の所有物です。
- その他、記載されている商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。
- HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE 「HDMI」、「HDMI High-Definition Multimedia インターフェース」、「HDMI Trade dress」、および「HDMI」ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

法的免責事項

- 適用される法律で許容される最大限の範囲において、本書および

記載された製品、およびそのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアは、「現状有姿」かつ「すべての欠陥
およびエラーを含むまま」で提供されます。HIKVISION は、明示的または
黙示を問わず、商品性、満足のいく品質、または
特定の目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行ってください。

いかなる場合においても、HIKVISIONは、特別損害、結果的損害、付随的損害、または間接損害（事業利益の損失、事業の中断、データの損失、 システムの破損、または文書の紛失による損害を含みますが、これらに限定されません。これらは、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、またはその他の理由に基づくものであるかを問わず、本
本製品の使用に関連して生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、データの損失、システムの破損、文書の損失などを含むがこれらに限定されない）について、たとえHIKVISIONがそのような損害または損失の可能性について通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負いません。

- お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、
ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について、一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて、HIKVISIONは適時に技術サポートを提供します。

- お客様は、本製品をすべての適用法令に従って使用することに同意するものとします。また、お客様の使用が適用法令に準拠していることを確保する責任は、お客様のみが負うものとします。
特に、お客様は、第三者の権利（宣伝権、知的財産権、またはデータ保護およびその他のプライバシー権を含むが、これらに限定されない）を侵害しない方法で本製品を使用する責任を負います。
パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー
権利を含みますが、これらに限定されません。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、
、あるいは人権侵害を助長する活動など、いかなる禁止された最終用途にも本製品を使用してはなりません。

- 本文書と適用される法律との間に矛盾が生じた場合は、後者が優先されます。

© Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. All rights reserved.

適用モデル

本マニュアルは、デコーディングモニターに適用されます。

記号の規定

本書で使用される記号の定義は以下の通りです。

記号	説明
Note	本文の重要な点を強調または補足するための追加情報を提供します。
Caution	回避しなければ、機器の損傷、データの損失、性能の低下、または予期せぬ結果につながる可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。
Danger	回避しなければ、死亡または重傷につながる可能性のある、リスクの高い危険を示しています。そのレベルの危険は、回避しないと死亡または重傷につながる可能性があります。

安全上の注意

Danger

- 注意：本装置は、屋内環境において電波干渉を引き起こす可能性があります。必要な予防措置を講じる必要があります。
- 本製品を使用する際は、国および地域の電気安全規制を厳守してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 規格に準拠し、SELV（安全極低電圧）および 100～240 VAC または 12 VDC/2A の限定電源の両方を満たす必要があります。
- 本機器が 3 極電源プラグを使用する場合は、接地された電源コンセントに正しく接続する必要があります。
- 電源プラグとコンセントのみによって電源のオン/オフを行う機器の場合、コンセントは機器の近くに設置され、容易にアクセスできるものでなければなりません。
- 電源プラグを抜き、コンセントから電源を切った後も、電気が残っている可能性があるため、むき出しの部品（インレットの金属接点など）には触れないでください。また、少なくとも 5 分間は待ってください。
- 危険な通電状態を示す「ϟ」のマークが付いている機器の場合、端子に接続される外部配線は、訓練を受けた担当者が設置する必要があります。
- 本機器を不安定な場所に設置しないでください。本機器が落下し、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。

- 本装置がウォールマウントまたは天井取り付けに対応している場合、取り付け面は、本装置の重量の 3 倍、ただし 50
N以上）の追加荷重に耐えられるものでなければなりません。設置中は、本機器および関連する取り付け具がしっかりと固定された状態を保つ必要があります。
- 本機器にコイン型/ボタン型電池が内蔵されている場合：

1. 電池を飲み込まないでください。化学火傷の危険があります
!
2. 本製品にはコイン型／ボタン型電池が含まれています。コイン型／ボタン型電池を飲み込むと、わずか 2 時間で重度の内部火傷を引き起こし、死に至る可能性があります。
3. 新品および使用済みの電池は、子供の手の届かない場所に保管してください。
4. 電池ケースがしっかりと閉まらない場合は、本製品の使用を中止し、子供の手の届かない場所に保管してください。
5. 電池を飲み込んだ、あるいは体内のどこかに挿入してしまった可能性があると思われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
6. 注意：誤った種類の電池と交換すると、爆発の危険があります。
7. 不適切な種類の電池と交換すると、安全装置が機能しなくなるおそれがあります（例えば、一部のリチウム電池の場合など）。
8. 電池を火や高温のオーブンに投げ込んだり、機械的に押しつぶしたり、切断したりしないでください。爆発の原因となる恐れがあります。
9. 電池を極端に高温の環境に放置しないでください。爆発や可燃性液体・ガスの漏出の原因となる恐れがあります。
10. バッテリーを極端に低い気圧にさらさないでください。爆発や可燃性液体・ガスの漏出の原因となる恐れがあります。
11. 使用済みのバッテリーは、指示に従って廃棄してください。

- 必ず、デバイスセットのメーカーが推奨するキャビネット、スタンド、または取り付け方法を使用してください。
- 必ず、機器セットを安全に支えることができる家具を使用してください。
- 必ず、機器セットが支持家具の端からはみ出していないことを確認してください。
- デバイスに接続されているコードやケーブルは、つまずいたり、引っ張られたり、掴まれたりしないよう、必ず適切に配線してください。
- デバイスセットを不安定な場所に置かないでください。
- 家具と機器セットの両方を適切な支持物に固定せずに、背の高い家具（食器棚や本棚など）の上に機器セットを置かないでください。
- デバイスセットとそれを支える家具の間に、布やその他の材質が挟まるような場所に、デバイスセットを絶対に置かないでください。
- おもちゃやリモコンなど、子供が登りたくなるような物を、デバイスやデバイスが置かれている家具の上に絶

対に置かないでください。

- 音声再生機能付きのデバイスについては、聴覚障害を防ぐため、大音量のレベルで長時間聴かないでください。

Caution

- 保護レベルが IPx4 未満の場合、本機器は水滴や水しぶきにさらさないでください。また、花瓶など、液体が入った物を本機器の上に置かないでください。
- 山頂、鉄塔、森林などの特殊な環境では、デバイスの入力開口部にサージサプレッサを設置してください。
- 電源コードに接続された端子から本機器に電力を供給する場合は、主電源への接続において、端子の電圧および配線が正しいことを確認してください。
- 通気口のある機器の場合、新聞紙、テーブルクロス、カーテンなどの物品で通気口を覆って、通気口を塞がないようにしてください。また、ベッド、ソファ、ラグ、その他の同様の表面に機器を置いて、通気口を塞がないようにしてください。
- 本機器に通気口があり、放熱のために距離の要件が定められている場合は、十分な通気が確保できるよう、本機器の周囲に適切な距離を保ってください。
- 本機器の設置が必要な場合は、

  1. 取扱説明書の指示に従って本機器を設置してください。
  2. 怪我を防ぐため、本機器は設置手順に従って設置面にしっかりと固定してください。
- 本機器を移動または使用する際は、垂直な状態を保ってください。
- 注意：ブラケットが当社の特定の機種専用に設計されている場合は、対応する機器でのみ使用してください。他の機器で使用すると、不安定になり、怪我の原因となる可能性があります。
- 注意：本機器を当社の特定のブラケットに取り付ける必要がある場合は、対応するブラケットのみを使用してください。他のもの（カート、スタンド、キャリアなど）を使用すると、不安定になり、怪我の原因となる可能性があります。ブラケットモデルの詳細については、本機器のデータシートを参照してください。
- インターフェースはモデルによって異なります。詳細については、製品のデータシートをご参照ください。
- 本機器に電源アダプタが付属しておらず、本機器の裸線配線が必要な場合：
- 危険な通電端子に接続される本装置の外部配線は、訓練を受けた担当者が設置する必要があります。
- デバイスの配線、設置、または分解を行う前に、必ず電源が切断されていることを確認してください。
- 電源装置または本機は、接地された電源コンセントに接続する必要があります。
- 電源には高電圧が流れています。分解しないでください。
- 電源装置または機器から煙、異臭、異音がした場合は、直ちに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。
- 本機器を自分で配線する必要がある場合は、電源用のケーブルを選択してください。
  。標準的なワイヤーストリッパーを使用して、指定された位置で被覆を剥がしてください。重大な事故を防ぐため、被覆を剥がす長さは適切にし、導体を露出させないでください。

- 本製品のパッケージに電源アダプタが同梱されている場合は、同梱のアダプタのみを使用してください。電源アダプタが同梱されていない場合は、使用する電源アダプタまたはその他の電源が「限定電源」の要件を満たしていることを確認してください。電源の出力パラメータについては、製品のラベルを参照してください。

第1章 はじめに

1.1 製品紹介

Decoding Monitorは、一体型ネットワークデコードエンジンを搭載しており、ネットワークカメラやネットワークビデオレコーダー（NVR）からの信号をデコードして表示できるほか、
マルチスクリーン分割によるリアルタイム表示や、ビデオ再生の検索機能もサポートしています。オールインワン設計により、システムアーキテクチャが簡素化され、安定性と運用効率が向上します。消防
管理センターや商業小売環境などのシナリオに適しています。

1.2 フロントパネル

本体のフロントパネルにあるボタンと電源インジケータは、以下の通りです。

Figure 1-1 フロントパネルのボタンと電源インジケータ

Table 1-1 ボタンおよび電源インジケータの説明

ボタン／電源インジケータ	説明
	● OSD ページ：次のページ、またはサブメニューページのパラメータに切り替えます。 ● その他のページ：画面上にすべての信号ソースを表示します。
	● メインメニューページ：前へ／次へ。 ● サブメニューページ：値を増加または減少させます。 ● USB ファイルページ：ファイルを選択します。 ● USB オーディオおよびビデオ再生ページ、およびその他の信号ソースページ：音量を上げたり下げたりします。
	● OSD ページ：確定。 ● その他のページ：現在の入力信号源を表示します。
	● OSD ページ：短く押すと、前のページに戻るか、OSD ページを終了します。 ● 信号源ページ：信号源ページを終了します。 ● USB再生用のファイル選択：再生。 ● その他のページ：OSD ページに入ります。

⏻	電源スイッチ。 ● 動作状態： – 画面をオフにするには短く押してください。もう一度短く押すと画面表示が復元されます。

	– 3秒間長押しすると、本機の電源が切れます。 ● シャットダウン状態：短く押すとデバイスの電源が入ります。
	電源インジケーター。 ●デバイスがスタンバイモードのときは、電源インジケーターランプが白く点灯します。 ●デバイスの電源がオンまたはオフのときは、電源インジケータライトは消灯しています。

1.3 背面パネル

本体の背面パネルにあるインターフェースは、次のように定義されています。

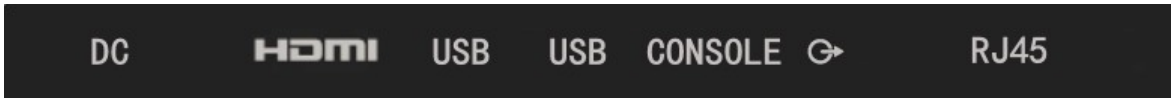

Figure 1-2 背面パネルのインターフェース

Table 1-2 背面パネルのインターフェースの説明

インターフェース	説明	インターフェース	説明
DC	DC電源入力インターフェース	HDMI	HDMIHDMIデジタル信号入力インターフェース
USB	USB 2.0 インターフェース	USB	USB 2.0 インターフェース
CONSOLE	デバイスデバッグ用インターフェース		3.5 mm オーディオ出力インターフェース
RJ45	RJ45ネットワークインターフェース	/	/

Note

パネルのインターフェースは、デバイスのモデルによって異なる場合があります。具体的なインターフェースについては、お使いのデバイスの実際のモデルをご参照ください。

第2章 設置およびケーブル接続

Note

設置図はあくまで参考用です。

2.1 ベースの設置

Step 1 本体をそっと持ち上げます。厚手の柔らかい布を敷いた安定した面に画面を下にして置き、ブラケットを取り付けるために本体の底面が面の端に近くなるようにします。

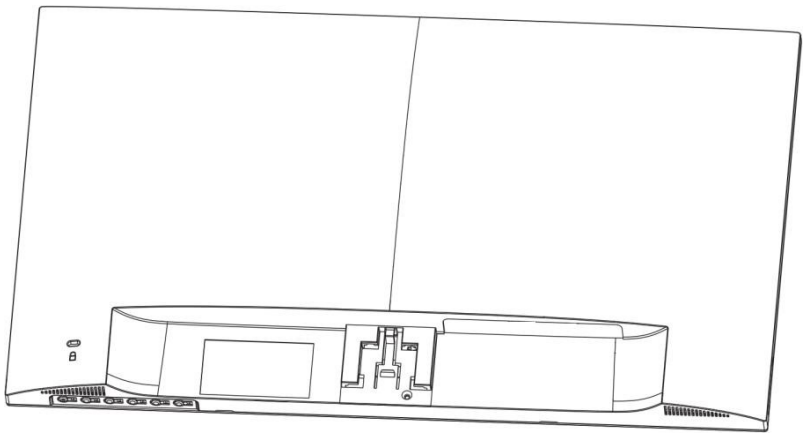

Figure 2-1 モニターの設置

Step 2 梱包箱からブラケット、ケーブルタイ、およびベースを取り出します。ケーブルタイをブラケットの穴に合わせ、ブラケットに挿入します。次に、ブラケットをベースの留め金に合わせ、時計回りに固定します。

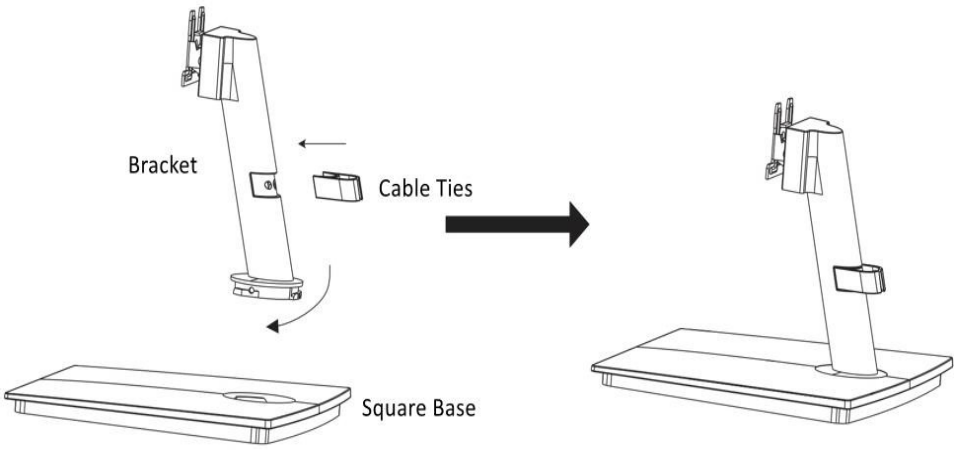

Figure 2-2 ブラケットをベースに固定する

Step 3 四角いベースのブラケットにある金属部品を、デバイスの背面にあるスロットに合わせ、差し込みます。

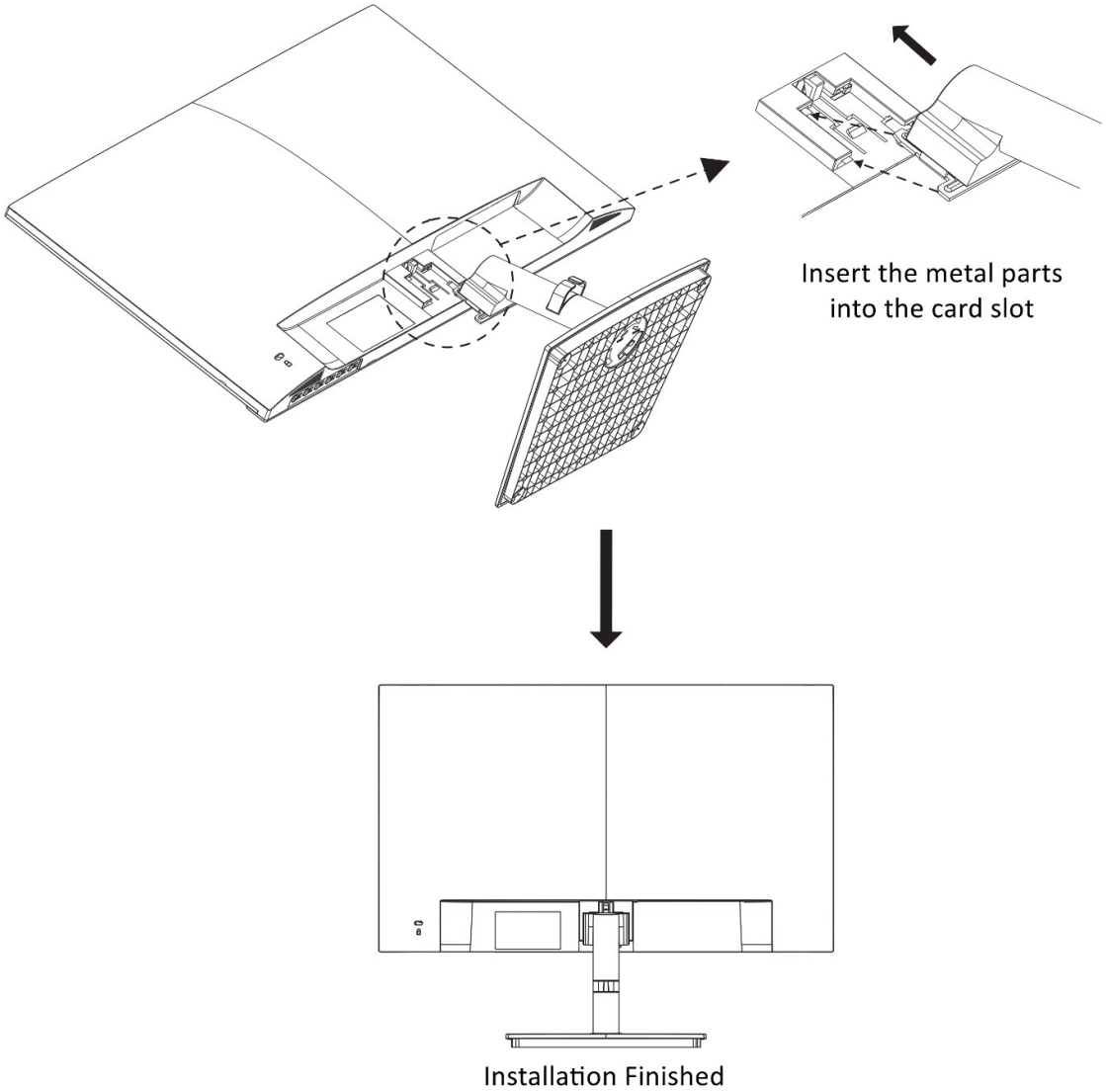

Figure 2-3 ブラケットを本体に取り付ける

Step 4（オプション）四角いベースを取り外すには、以下の手順を行ってください。

1) デバイスの背面にあるスナップバックを押し続けながら、下方向にパンしてブラケットを引き抜きます。

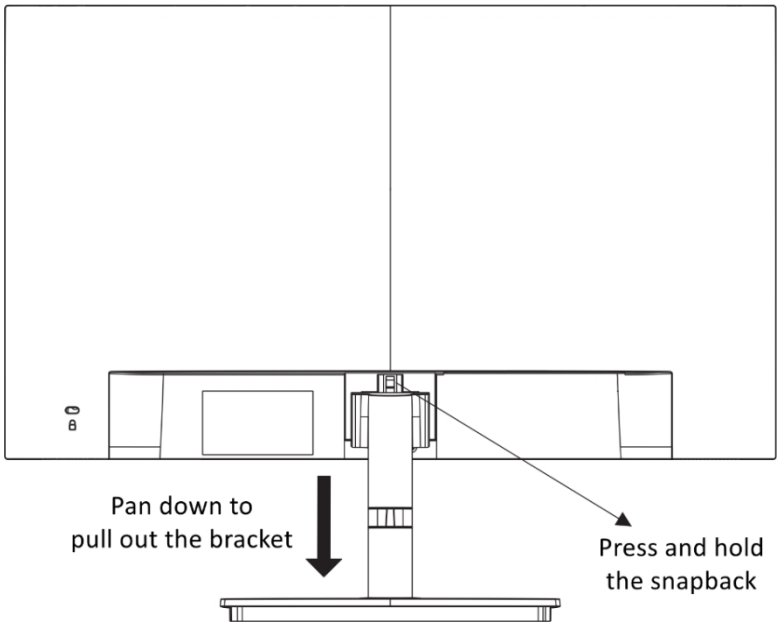

Figure 2-4 本体とブラケットを取り外す

2) ベース底部のバックルを指で締め、ブラケットを「OPEN」と表示された方向に回転させて、ベースから取り外します。

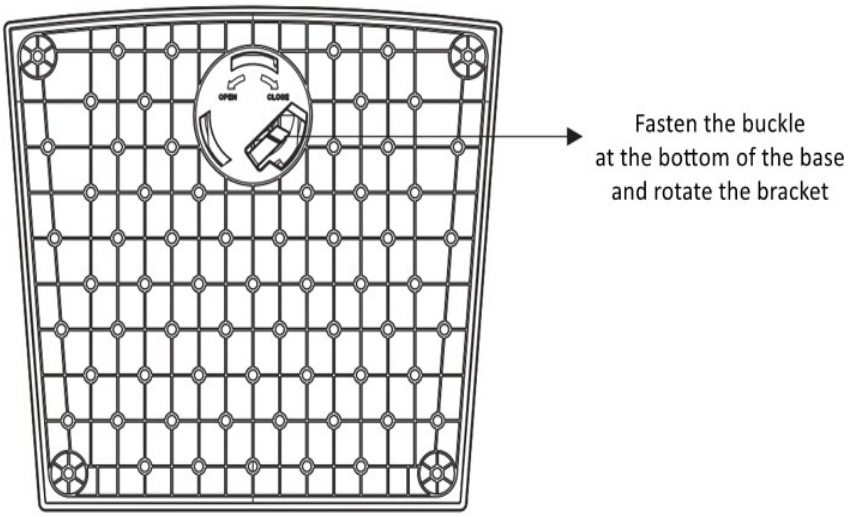

Figure 2-5 ベースからブラケットを取り外す

2.2 ヘリンボーンベースの取り付け

Step 1 デバイスをそっと持ち上げ、厚手の柔らかい布を敷いた安定した面に画面を下にして置きます。このとき、ブラケットを取り付けるために、デバイスの底面が面の端に近くなるようにしてください。

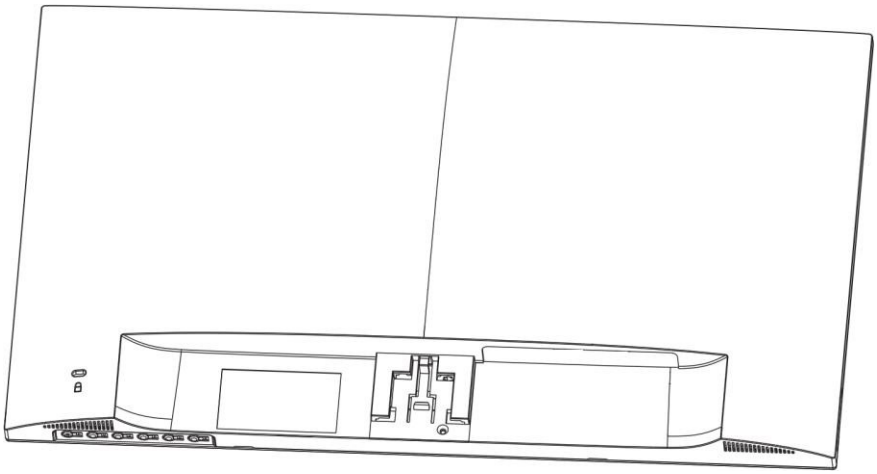

Figure 2-6 デバイスを平らに置く

Step 2 梱包箱からブラケットとヘリンボーンベースを取り出します。

● ブラケットとベースの取り付け（モデルA）

ブラケットをヘリンボーンベースの溝に下向きに差し込みます。ベース底部のネジを締めて、ブラケットをベースに固定します。ブラケットを
ヘリンボーンベース。

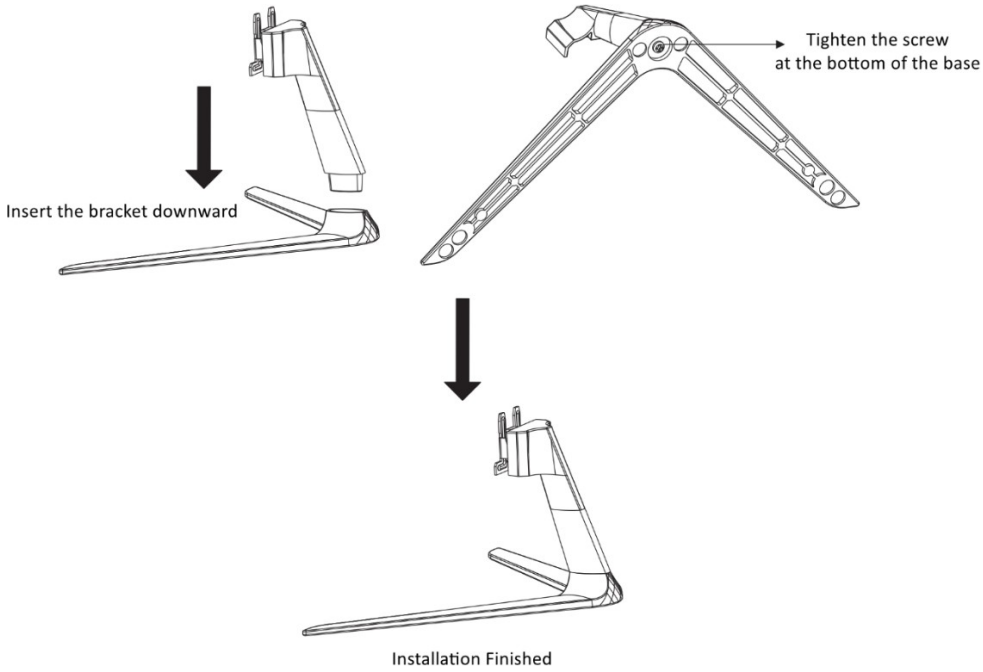

Figure 2-7 ブラケットとベースの取り付け（モデルA）

● ブラケットとベースの取り付け（モデルB）

カチッという音がするまで、ブラケットをヘリンボーンベースの溝に下向きに差し込みます。

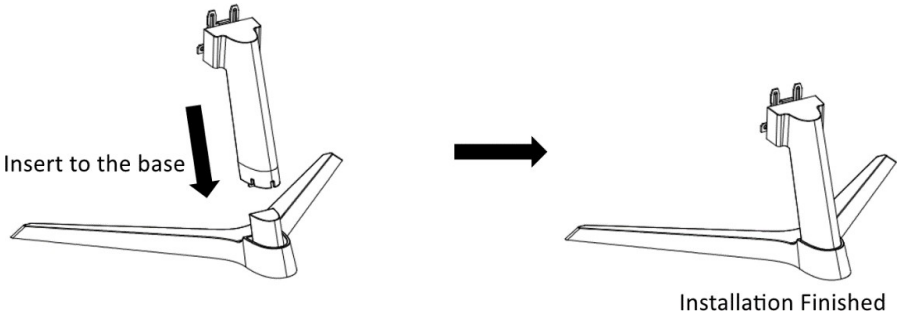

Figure 2-8 ブラケットとベースの取り付け（モデル B）

Step 3 ブラケットをデバイスで固定します。スクエアベースの固定方法の詳細については、「***2.1 ベースの取り付け***」の「***2.1 ステップ 3***」を参照してください。

Step 4 （オプション）ヘリンボーンベースを取り外す必要がある場合は、正方形のベースと同様の方法でブラケットとデバイスを取り外してください。詳細については、「***2.1 ベースの取り付け***」の「***ステップ 4***」を参照してください。

Note

ブラケットとベースを取り外す際は、ヘリンボーンベース底部のネジを緩め、ブラケットを持ち上げて取り外してください。

2.3 電源コードと信号ケーブルの接続

Step 1 電源コードを使用して、本機を接地された電源コンセントに接続してください。Step 2 HDMI 信号ケーブルを使用して、入力信号源機器を接続してください。

Step 3 本体の電源を入れます。

Caution

- 詳細な電圧および最大電流のパラメータについては、本体のパッケージにある製品ラベルをご参照ください。
- 本機を長期間使用しない場合は、電源を切り、プラグを抜いてください。
- 本体の背面パネルにある「⏻」を短く押して、スタンバイモードに入ります。⏻」をもう一度短く押すと、スタンバイモードが解除され、画面が点灯します。
- 待機時の消費電力：0.5 W 以下。
- デバイスの電源が入っており、HDMI または VGA 信号が入力されていない場合、画面に「No Signal」というメッセージが表示され、10 分後にスリープモードになります。つまり、デバイスはネットワークスタンバイモードに入り、最低の消費電力で動作します。HDMI または VGA

  信号が入力されたり、⏻すると、デバイスはネットワークスタンバイモードを終了し、画面が

復帰します。

- ネットワークスタンバイ時の消費電力：2.0 W以下。

第3章 OSDの操作

3.1 信号ソースの選択

Step 1 を押して、信号ソースページに入ります。

Step 2 を押して入力ソースを切り替え、 を押して確定します。Step 3 を

押して、信号ソースページを終了します。

3.2 OSDの操作

Step 1 短く押すと を短く押して、OSD ページ

に入ります。Step 2 メインメニューページを表示します

。

1) を短く押してOSD ページに入ります。xml-ph-0000@deepl.internal メインメニューページを表示します。 または を短く押して、メインメニューページを表示します。
2) を短く押すと、メインメニューの別のページに切り替わります

。Step 3 サブメニューページを表示します。

1) を短く押して、サブメニューページに入ります。 サブメニューページを表示します。
2) を短く押して、別のサブメニューページに切り替えます。

Step 4 パラメータを調整します。

1) 短く押す または を短く押して、パラメータの値を調整します。
2) を短く押して、別のパラメータに切り替えます。 パラメータを調整します。またはを短く押して、パラメータの値を調整します。

Step 5 調整後、 を短く押して、メインメニューページに戻ります。Step 6 も

う一度短く をもう一度短く押して、OSD ページを終了します。

3.3 OSD 機能

Table 3-1 OSD 機能の説明

メインメニュー	サブメニュー	説明
画像モード	画像モード	●標準：通常の環境に適しています。デフォルトの画像モードです。 ● ムービー： 動画の再生に適しています。 ●プレゼンテーション：ファイルやPPTなどの資料の再生に適しています。 ●監視：ビデオの再生に適しています。 ●ユーザー：明るさ、コントラスト、カラー、シャープネスをカスタマイズして、表示効果を調整します。
	輝度	0〜100。数値が高いほど、画像は明るくなります。
	コントラスト	0〜100。値が高いほど、画像は鮮明になります。
	カラー:	0〜100。値が高いほど、画像の色彩が豊かになります。
	シャープネス	0〜100。値を最大にすると、画像がより鮮明になります。
画像設定	色空間	「自動」モードでは、システムは入力信号源の色空間に基づいて、対応する色空間に自動的に適応します。信号源の出力の色空間の識別が一致しない場合、適切に適応させるために、0〜255 または 16〜235 を手動で切り替えることも可能です。
	アイケアモード	オフ／高／中／低。有効にすると、ブルーライトの放射を効果的に低減し、目の疲れを和らげ、視力を保護します。
	アスペクトモード	16:9／4:3／P-to-P。画像のアスペクト比を調整します。
ID設定	設定モード	●自動：行数／列数／自動設定を構成します。 ● 手動：行／列を設定します。
	行 / 総行数	1〜15。
	列 / 列数	1〜15。
	自動設定	自動設定。

メインメニュー	サブメニュー	説明
制御リンク方法	制御リンク方法	オフ／オン。
	ビデオウォールNo.	1～100。
	インテリジェント・シーン	オフ／オン。
キーパッド	キーパッド	必要に応じてキーパッドを有効または無効にします。
アラーム設定	過熱アラーム	温度が指定値を超えると、アラームが作動します。
	アラーム温度（°C）	0～100。アラーム温度を設定します。
USB設定	USB 自動再生	オフ/写真/動画。 対応ビデオエンコーディング：AVC（デフォルトのビットレートモード CBR）、MPEG-4 Visual XVID、VC-1 WMV3、FFDS FLV1、V_MPEGH/ISO/HEVC（H265）など。 サポートされるオーディオエンコーディング：AAC、MPEG オーディオ MP3、MPEG オーディオレイヤー 2、PCM、および MPEG オーディオ MP3 ビットレートモード VBR など。
オーディオモード	ミュート	デバイスの音声をミュートまたはミュート解除します。
	音量	0～100。本機の音量を調整します。
	バランス	0～100。左右のスピーカー間のバランスを調整します。
システム情報	ソフトウェアバージョン	デバイスのソフトウェアバージョン。
	デバイスID	デバイス ID 情報。
	現在の温度(°C)	デバイスの現在の温度。
	シリアル番号	デバイスのシリアル番号。
	デコーダバージョン	デバイスのデコーダバージョン。
OSD設定	言語	OSDの言語を設定します。
	OSD表示時間	常時表示 / 15 秒 / 30 秒。操作がない場合の OSD メニューの表示時間を設定します。
	自動スリープ	オフ / 5 分 / 10 分。自動スリープまでの時間を設定します。
	信号なし	青／ロゴ／黒。信号がないときの画面の背景を設定します。
	自動入力ソース	オフ／オン。

メインメニュー	サブメニュー	説明
メンテナンス	アップグレード（USB）	USBフラッシュドライブを挿入して、ソフトウェアのバージョンをアップグレードします。
	初期設定に戻す	デフォルト設定に復元します。

第4章 デバイスの操作

本デバイスは、ローカル画面またはWebページから操作できます。詳細な手順については、以下のQRコードをスキャンしてユーザーマニュアルをご確認ください。

Figure 4-1ユーザーマニュアルのQRコード

遠くを見据え、さらに先へ
Go

UD46990B